

(筑波大学 事務系組織 服務監督者向け) 在宅勤務に関するアンケート質問内容

【アンケート概要】

実施期間：2020年6月24日(水)～7月1日(水)

実施方法：オンラインによる実施 (google form)

対 象：筑波大学 事務系組織の服務監督者

【質問】

① コロナ感染症感染対策として、本学では出勤者を2～3割にする取り組みをしてきましたが、ご所属の部署では在宅勤務を実施しましたか。

実施した

実施しなかった／できなかった

「実施しなかった」を選択した方へのご質問です

実施しなかった／できなかった理由を教えてください (自由回答)

「実施した」と回答された方へお聞きます

② 出勤者と在宅勤務者の振り分け方を教えてください (職員によって異なる場合には、当てはまるものすべてにチェックをしてください)

機械的に、出勤する人の班、在宅勤務の人の班に振り分けた

業務内容や個々の事情を考慮して班を振り分けた

その他

③ 主にどのような体制・頻度で在宅勤務を実施しましたか (職員によって異なる場合には、当てはまるものすべてにチェックをしてください)

一日交代で行った

2、3日交代で行った

1週間交代で行った

完全な在宅勤務者と出勤者とに分けた

その他

④ 在宅勤務者の出退勤管理はどのように行いましたか (職員によって異なる場合には、当てはまるものすべてにチェックをしてください)

メールや電話で服務監督者と直接連絡を取る形にした

出退勤管理アプリなどのツールを利用した

在宅勤務者の出退勤は都度確認していない／勤務時間登録システムへの入力のみ

その他

4-1 出退勤管理のために使用したアプリ・ツールがあれば教えてください（記述式）

在宅勤務を実施した際の業務管理について教えてください

⑤在宅勤務中の職員の業務管理について教えてください（職員によって異なる場合には、当てはまるものすべてにチェックをしてください）

- 成果物を、毎日提出してもらう
- 成果物を、ある程度の期間分まとめて提出してもらう
- どのような業務を行ったか、毎日口頭やメールで報告してもらう
- どのような業務を行ったか、ある期間分をまとめて口頭やメールで報告してもらう
- 在宅勤務中の業務については管理していない

⑥ 在宅勤務を実施したことで、各職員の業務達成状況に影響はありましたか

- 業務を達成できない職員がほとんどだった
- 業務を達成できる／できない職員と半数の割合だった
- 業務を達成できる職員がほとんどだった
- 通常勤務よりも業務が捗った職員がほとんどだった

⑦ 4～6月にかけて、部署内の業務達成状況は、通常勤務の場合と比較してどの程度の割合でしたか。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

完全に中断した      ○○○○○○○○○○ 滞りなく進んだ

7-1 業務が中断した・停滞したと感じる業務はどのようなものでしたか。差し支えない範囲でお答えください。（自由回答）

⑧ 在宅勤務の実施にあたり、サービス監督者として工夫したことや気を付けたこと（例えば出退勤管理、業務管理、健康管理について等）を教えてください（自由回答）

⑨ 在宅勤務を実施して、部署内から出てきたご意見・ご感想等があれば教えてください（自由回答）

⑩ コロナ終息後も、部署内で在宅勤務を継続していきたいと思いませんか

- 希望者がいれば続けたい
- 希望者がいても続けたくない

上記⑩のように回答した理由を教えてください（自由回答）

⑪在宅勤務にかかわらず、サービス監督者であるご自身がコロナ禍において不安に思ったことや気になったことなどありますか（自由回答）